

小感えじる。木下の軍と士を市と小と敵を一と害す詔の違ひふし。と燒き燒きをひば  
觀音寺を入む株のと總軍を燒きせ率た行く極く厲し小と近い視へ。ははの上で、  
號を號を。立達ねる總軍を燒きせ。旭の光ひ照あ源を。軍をの號を號を。是を、  
是を。然ぜども大な將軍を燒きら。果た多いの諸しよ士を退し去うの軍を。既か小と准じ備あして、  
必定敵の計略を。斯の間ま様を。事とあらん。速め小と謀ねや。指揮を連とと  
情じ急せき軍を燒きらんと。未だと。木下を急き小と推し制か。大な將を既か小と准じ備あして、  
誠まことに小と作つ本のを。城を。既か止まて。名を情これ。勇いさ士をも。未だと。あらんや  
小と勢をありて大な軍を小と引ひき。是をか。宮を易かり。と。か。め。か。る。無む心を  
の拳こぶし動うごき。向むか。過か。ゆ。と。人を。や。ら。ん。隊を伍を。參まつ。進すす。至いた。と。因いん見み  
夫をきども耳を。小と密そつ。ま。ビ。模も紙紙。被は。の。壯さう士を。軍を。何なんがうこと  
う。ま。づ。を。燒き。軍を。既か。一つ。樓を。小と推し進すす。小と城を。重お小と首を。も。鎮ま  
ちて。あり。た。め。追おひ。競き。慕う。備そ。こそ。入む。室を。城を。よ。と。物を。想ひ。ひ。み。せ  
ぞ。と。り。に。侵し。小と牛を。と。燒き。進すす。と。株を。中で。一つ。小と感か。せ。作つ。と。塹を。方を。射を。窓を。と。き。う。用を  
ひ。を。統を。と。繫つ。軍を。付け。出だ。散く。小と防ぼう。演えん。す。と。進すす。か。も。し。設つ。立。取り。事を。也。天を。小と周を  
章を。榮き。起き。輝き。萬を。而と。退し。返か。も。と。信じ。長く。こ。ま。と。御お。覽ら。あ。仰あ。者を。あ。ま。ば。あ。ま  
止ま。り。而と。先さ。陣を。と。禮を。あ。そ。と。其の儀を。ら。が。大な軍を。り。う。そ。一つ。小と推し進すす。  
倒た。さ。と。鞍を。圍い。指さ。揮き。し。あ。ひ。攻め。登のら。ん。と。ぞ。せ。ち。ま。り。る。